

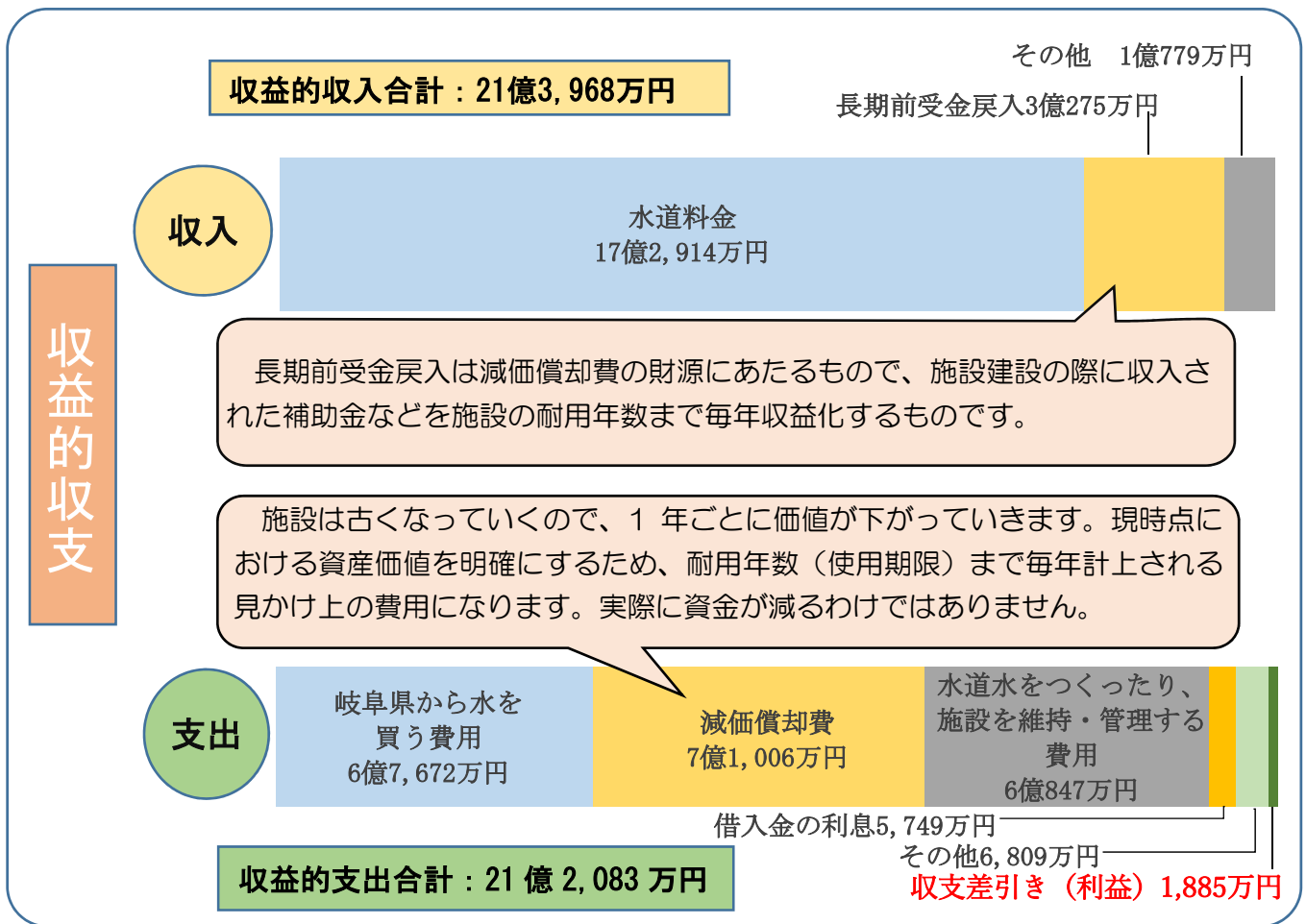
中津川市上下水道だより

平成30年度決算報告について

上水道事業・下水道事業（公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、個別排水処理事業の4事業）の平成30年度決算については、上水道事業は1,885万円の黒字、下水道事業（4会計合計）は歳入から歳出を差し引いた額1億5,696万円を繰越金として翌年度に繰り越しました。それぞれの詳細は次のとおりです。

◎上水道事業

水道事業の損益に係る収支を示した収益的収支のグラフです。



収益的収入

単位：円

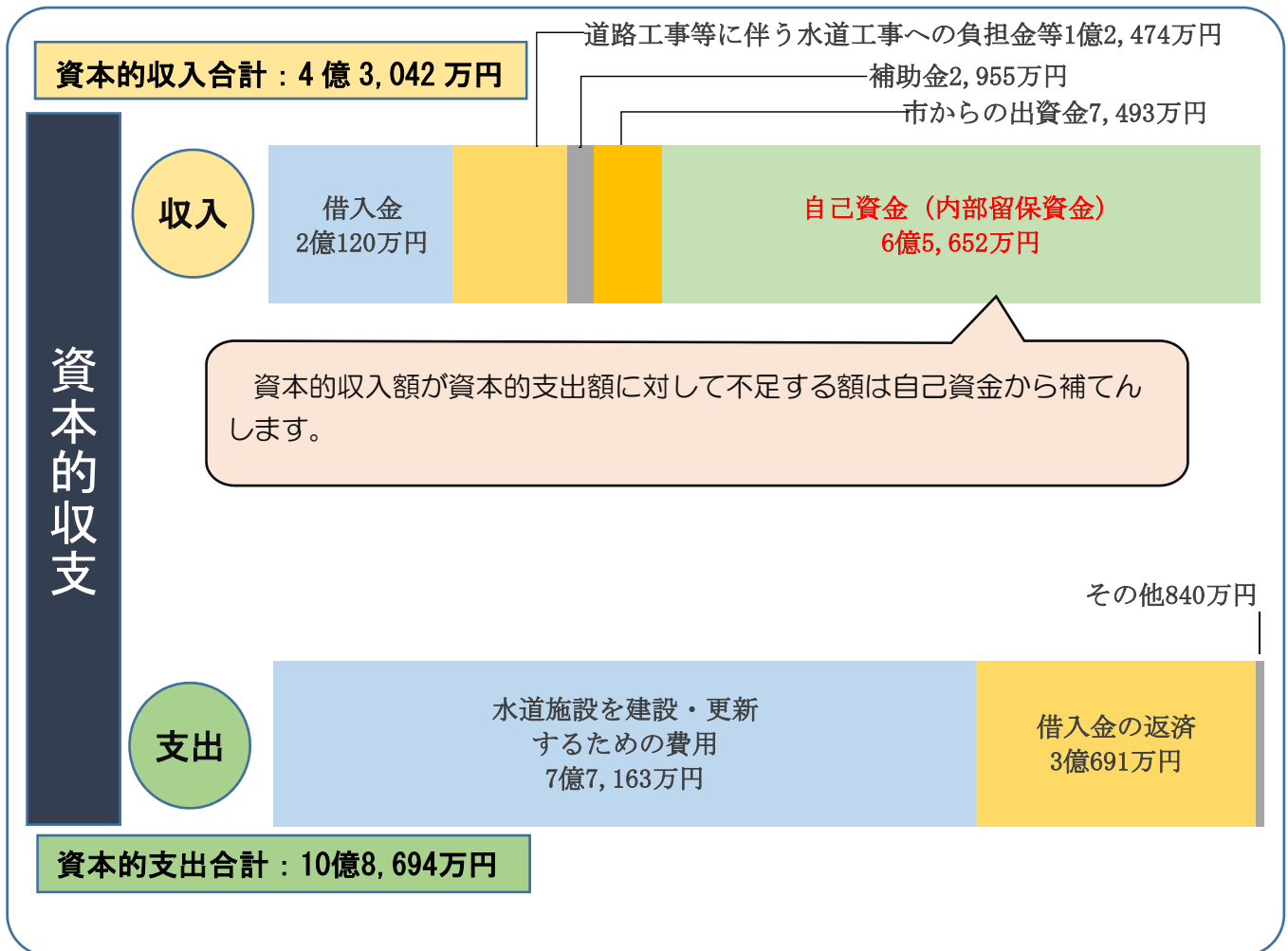
	H30年度	H29年度	前年度比較	前年度比(%)
水道料金	1,729,139,736	1,727,400,516	1,739,220	0.1
長期前受金戻入	302,755,123	308,935,810	▲6,180,687	▲2.0
その他	107,786,530	116,586,280	▲8,799,750	▲7.5
合計	2,139,681,389	2,152,922,606	▲13,241,217	▲0.6

収益的支出

単位：円

	H30 年度	H29 年度	前年度比較	前年度比 (%)
岐阜県から水を買う費用	676,717,318	649,608,661	27,108,657	4.2
減価償却費	710,055,513	699,706,043	10,349,470	1.5
水道水をつくったり、施設を維持・管理する費用	608,470,195	610,212,742	▲1,742,547	▲0.3
借入金の利息	57,488,689	63,042,767	▲5,554,078	▲8.8
その他	68,095,374	90,046,149	▲21,950,775	▲24.4
合計	2,120,827,089	2,112,616,362	8,210,727	0.4

続いて、将来への投資に関する収支を示した資本的収支のグラフです。



資本的収入

単位：円

	H30 年度	H29 年度	前年度比較	前年度比 (%)
借入金	201,200,000	186,000,000	15,200,000	8.2
道路工事等に伴う水道工事への負担金等	124,732,353	78,902,336	45,830,017	58.1
補助金	29,551,000	6,031,000	23,520,000	390.0
市からの出資金	74,933,000	82,932,000	▲7,999,000	▲9.6
合計	430,416,353	353,865,336	76,551,017	21.6

資本的支出

単位：円

	H30 年度	H29 年度	前年度比較	前年度比 (%)
水道施設を建設・更新するための費用	771,629,116	686,123,966	85,505,150	12.5
借入金の返済	306,909,822	299,169,040	7,740,782	2.6
その他	8,403,872	6,788,400	1,615,472	23.8
合 計	1,086,942,810	992,081,406	94,861,404	9.6

水道事業において、将来への投資にあたる資本的支出は、主に青木斧戸線などの道路整備に伴う水道管布設、奥恵下配水池築造工事、管路耐震化工事など改良工事費に充てられました。

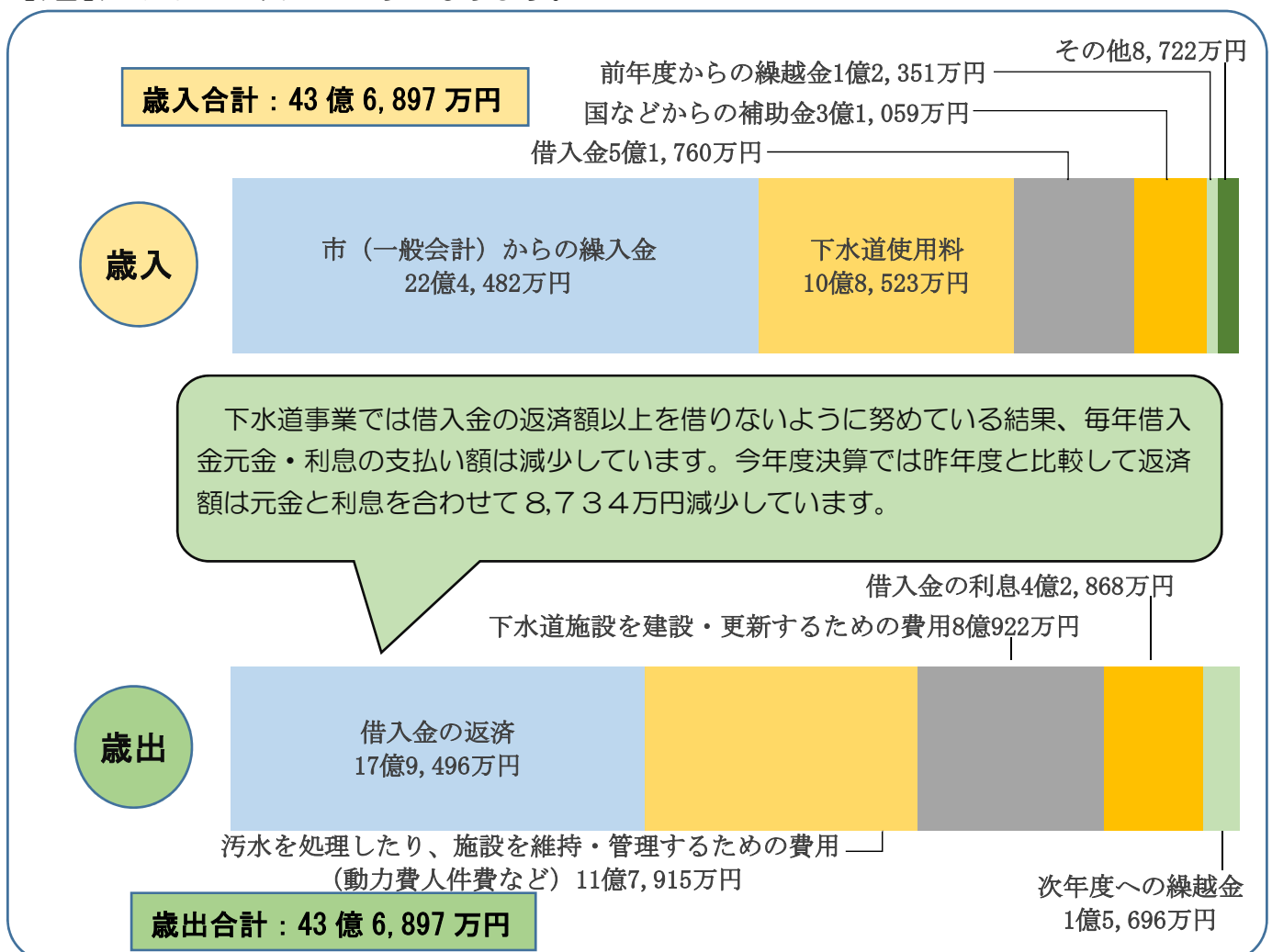
今後もリニア開業に向けて水道施設の整備事業と平行して、経年劣化した管路等の耐震化事業を行っていく必要があるため、令和7年度までは多くの資金を必要とする時期が続きます。

水道事業では企業債を計画的に活用し、現在の水道受益者だけでなく、将来の水道受益者にも公平に費用負担いただくことで、無理のない計画的な借入を行いながら老朽化施設等の耐震化を進めるとともに、人口減少社会における適正規模の施設整備に努めていきます。

また、官民連携による包括業務委託を更に強化し、業務効率化や費用対効果を検証しながら経営改善を行い、持続可能な水道事業経営を目指します。

◎下水道事業

公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、個別排水処理事業の4会計合計のグラフは次のとおりとなります。



歳入

単位：円

	H30 年度	H29 年度	前年度比較	前年度比 (%)
市(一般会計)からの繰入金	2,244,826,000	2,313,009,000	▲68,183,000	▲2.9
下水道使用料	1,085,231,213	1,009,983,948	75,247,265	7.5
借入金	517,600,000	295,800,000	221,800,000	75.0
国などからの補助金	310,590,200	198,497,000	112,093,200	56.5
前年度からの繰越金	123,508,631	121,544,758	1,963,873	1.6
その他	87,217,432	154,539,106	▲67,321,674	▲43.6
合 計	4,368,973,476	4,093,373,812	275,599,664	6.7

歳出

単位：円

	H30 年度	H29 年度	前年度比較	前年度比 (%)
借入金の返済	1,794,961,485	1,840,825,629	▲45,864,144	▲2.5
汚水を処理したり、施設を維持・管理するための費用	1,179,152,604	1,076,418,259	102,734,345	9.5
下水道施設を建設・更新するための費用	809,224,596	541,465,547	267,759,049	49.5
借入金の利息	428,679,115	470,155,746	▲41,476,631	▲8.8
合 計	4,212,017,800	3,928,865,181	283,152,619	7.2

歳入では、下水道使用料は整備区域の拡大などにより平成29年度と比較して7,525万円ほど増収となりました。また、平成30年度は中津・坂本地区の下水道工事や公営企業法適用に向けた資産調査などの財源として、借入金・補助金・繰越金が昨年度と比べて増えています。

歳出で大きなウェイトを占める借入金の元金と利息の返済ですが、新規借入額が返済額を大きく下回っており、平成19年度末に363億6千万円ほどあった起債借入残高は平成30年度末には202億2千万円ほどまで減少しています。

歳入と歳出の差額である実質収支額合計1億5,696万円は次年度への繰越金としました。以上が下水道事業の平成30年度決算となります。

今後、中津・坂本処理区の下水道整備区域を拡大することで下水道使用料収入の増加が見込まれますが、下水道使用水量が増加することに伴い処理費用も増加しますので、引き続き経費削減に努め、経営改善を図ります。

また、令和2年度からの公営企業法適用に向け準備を進めており、持続可能な下水道事業の構築・運営に努めます。

下水道マンホール紀行～その4～

前回は中津川地区のマンホールを紹介しました。今回は坂本地区のものを紹介します。

坂本地区マンホールデザイン

天然記念物に指定されている「坂本のシデコブシとハナノキ」が力強くダイナミックに描かれたデザインです。デザインは、平成20年に一般公募で決まりました。

坂本地区ではリニア開業に向けて上下水道施設の整備を進めております。

